

今月のKYT（危険予知トレーニング）

雪の積もった橋の上を前車に追従しながら走行しています。
自車はこのまま橋を通過したいのですが……。

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q KIKEN YOCHI TEST
あなたはどのような運転をしますか？



答えは次ページへ

◎ 予想される危険を記入して下さい。氏名

- 1
- 2
- 3



知 予 危 険 ポ イ ト

スリップしやすい橋の上は
慎重に運転する

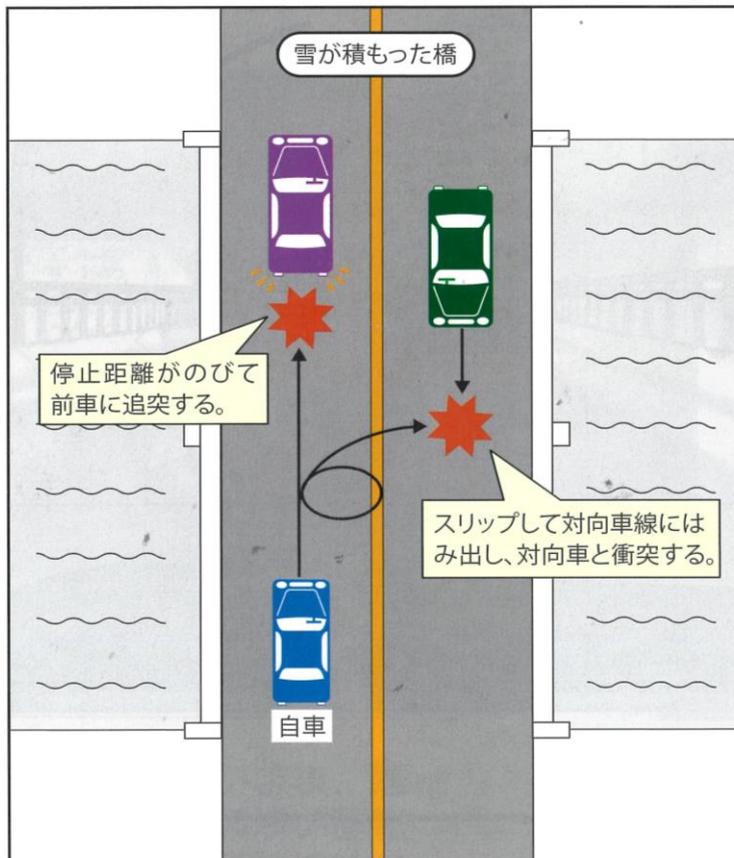
橋の上やトンネルの出入口、日陰などは凍結しやすく、漫然と走行しているとスリップする危険があります。

凍結しやすい場所を走行するときは、スリップを起こさないようスピードを控える、急のつく操作をしないなど、慎重に運転しましょう。

冬道での追従は
十分な車間距離をとる

冬道での運転では、停止距離がのびることから、車間距離を詰めて走行していると、前車が減速したときに追突する危険があります。冬道では、前車との十分な車間距離をしっかりと確保しながら走行することを徹底しましょう。

- ① スリップして対向車線にはみ出し、対向車と衝突する。
- ② 停止距離がのびて前車に追突する。



橋の上はスリップ危険箇所。より慎重な運転を心がけよう

KYT (危険予知訓練) は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。